**第３回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年６月２２日（水）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第２委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

　　　　　　　 副部会長　川村　正勝

　　　　　　　 部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　　　　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）【教育部次長】

　　　　　　　　　　　　 安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

本日配付しました資料について説明します。

**≪庁内委員≫**

　お手元にあります「きらり健康ふれあいウォーキング」ですが、数年前の市長の一つの事業として、ＮＰＯ法人健康ネットワークに委託をして９か所の地区毎に製作したものです。

　そのほか、社会教育グループで所管している施設の配置図と①から⑫までの施設の概要がその後ろに付いています。

　社会教育グループからの資料は以上です。

**≪事務局≫**

　市民協働グループからの提供資料は、市内の公園の位置図で、土木・公園グループから提供を受けております。

　別紙には住所や広さ、内容が記載してある資料となっております。

**≪事務局≫**

　前回の育み部会は５月１３日に開催しましたが、４月末の全体会議で決定しました「健康」をテーマについて議論をしていただきました。

　育み部会としては知徳体の３つをバランスよく「体づくり」「仲間づくり」「心づくり」というテーマでそれぞれの分野で何ができるのかを考えていくと、関連性が図っていけるのではないかと話していました。

　色々と議論を進めていく中で、現在ある市の事業ですが、健康増進に関する事業だとすると社会教育グループや健康推進グループにバラバラになっている部分があるので、市の健康というものを一元化するような仕組みになれば良いなという話がありました。

　また、健康というものを題材にして経済を活性化させたらどうなのかという話や、外に出る機会が少ない人をどのようにしたら人と接する機会を増やせるかなどという話がありました。

　体を動かすために、市の生活圏の中にウォーキングコースなどが色々な所にあるのが望ましいのではないかという話がありました。

　たくさんの話があった中で、育み部会としては「体の健康づくり」が良いのではないかという方向性になっていたと思います。

　先ほど説明にありましたけれど、市内で体を動かすことができる施設の資料と以前作成しました市内のウォーキングマップという形で提供させていただいております。

本日の流れとしましては、前回の流れを踏まえまして育み部会として健康をテーマとして話をできれば良いと思います。

今後の流れとしましては、各部会で議論している内容の情報共有や方向性などを協議するために、次の各部会を開催する前の７月１１日又は１３日に部会長副部会長会議を開催する予定でいます。その会議で各部会の議論の内容を情報共有し、今後の進め方を協議していきたいと思っております。

次回の部会については、７月の後半に開催できればなと思っております。

　また、市の予算に反映させる場合につきましては、９～１０月くらいまでには内容を固める必要がありますので、その分をまず先に検討する必要があるのかなと考えています。

　市の予算だけではなく、各団体で対応するものもあると思いますので、それにつきましては年度内にある程度形にできればなと考えております。

**≪部会長≫**

　今、前回までの流れについて事務局から話がありました。

　前回の部分でメインにしていこうとなったのが「体の健康づくり」です。

　これを色々な協働の形で取り上げていけるものが無いかどうかということでウォーキングコースや施設について話がありましたが、具体的な事業となると難しいので、それらを事業として体づくりにどう繋げていくかという部分が今後の方向性になるのかなと思います。

　皆さんから何か意見等あればお願いします。

**≪庁内委員≫**

出勤時など、歩いている方と結構すれ違いますが、高齢者が歩いているというのはありますが、子育て世代や働いている人達は目には見えないなという感じがします。

**≪事務局≫**

自由になる時間がある部分と無い部分というのがあるのでしょうね。

**≪部会長≫**

昼間働いているとどうしても夜や休日ということになりますよね。

**≪庁内委員≫**

運動量として歩くというのは、カロリーにしたらすごく低いので、逆にいえば継続できるということも言えますね。

**≪部会員≫**

市内に町内会の地区連合町内会が１１あるので、町内会と一体となって事業を進められるような形にして、そこの地域の人たちに出てもらえるような形にした方が良いと思います。

ウォーキングマップにしても町内会の中でルートを作って、そしてこの位のカロリーになるとかいうものを作っていった方が、やっていく中で必要になってくるのかなと思います。

どこかに集まりなさいと言ってもなかなか集まれないので、地域の中で施設を利用して何かをできるような形であれば、参加する人達を増やすことができるのかなと思います。

普段外に出ないような人たちの健康について、皆で考えていけるようなシステムを作っていかなければ、理屈では解っていても、実際どうやって体を動かせるのかというのを考えていかなければいけないと思います。

**≪部会員≫**

　健康というテーマを現実に一つひとつ落していくと、ものすごく難しいと思いました。

　やりたいと思う人がどの位いるのかなど、一つの目安になるデータが無ければだめですし、市全体で健康を管理する保険証や医者、行政、市民もかなり大がかりな仕組みでもない限り、これを実現していくのは出来ないのではないかと思ってしまいました。

**≪部会員≫**

ここに取っ付かないことにはどうしようもなくなりますね。

市だけでは結果が出せないと思いますので、同時に地域包括ケアというのも進んできていますので、地域全体で施設に入れるのではなく、自宅でフォローしていくようなシステムを作り、国もその方針なのでそれともうまく連動しなくてはいけないのかなと思います。

その中で私のイメージとしては、数値で見えなくてはいけないと思います。

一番は生活習慣病で、糖尿病と高血圧と認知症です。

社会保険はわかりませんが、国保の人の中でどれぐらいの割合がいるのか、１０年後の予測はどれぐらいいるのかというのは調べられると思います。

その３つを予防するためには何ができるのかということを考えていったら良いのかなと思います。

色々な健康に取り組んでしまうと訳がわからなくなるので、確実に１０年後には半数近くの人がなると予想されている。また、予防もできる生活習慣病について考えていくのが良いのかなと思います。

例えば、生活習慣病の予防のため、街路樹にここからどこまで歩けば何㎞になるや、何分歩いたら何キロカロリーになりますよというようなことが書いてあり、その下に、あなたの家族の生年月日を全部言いましょうというような質問事項が書かれていれば認知症の予防になると思います。

市民の方が目にする機会が多くなれば、やってみようかなという気になるかもしれないので、きっかけを作ってあげれば予防に繋がるのかなと思います。

ただし、ある程度専門の意見を聞かないといけないので、予防としてどのようなものが効果的なのかなどの講習を来年度に受けてみても良いと思います。

あと、公園も使われていない所が沢山あるので、それをもっと有効活用する方法を考えて、特徴ある公園にできれば良いのかと思います。

**≪部会員≫**

　前回宿題をいただいていた、スポーツ施設以外の所について調べてみましたが、場所が圧倒的に無いということに気付きました。

　先ほどお話にありました、健康日本２１という施策が平成１７年にありましたが、それに基づいて健康のぼりべつ２１というのを作っていたようで、昨年で一度終わっています。

　これについて、何かしら検証していると思いますので、ちょうど良いタイミングなのかなと思います。

　かろやか体操も１０年くらい続けられている事業ですが、その中身は大きく分けて身体運動と脳の活性化、口腔の健康、そして食育というような感じで構成されています。

　昨日、高齢・介護グループと打ち合わせをした際は、かろやか体操を卒業した意欲の高い方が、地域で小さなコミュニティを作って、そこのリーダーさんがかろやか体操を展開していく学習会というものを開催して、その学習会に予算を投じて、そういう人達を地域におとしていけるような仕組みの方が重要なのではないかなと話をしました。きずな基本計画ができたので、そちらと関連付けて、サロン活動の一環でかろやか体操をすれば、集まる集まらないの議論は必要無くなってくるのではないのかなと思います。

**≪部会員≫**

今までの行政の事業は、単発で事業をあげて何かをやったら終わりというやり方で、その次にステップアップするというやり方はほとんど講じられていませんでした。

だから人が育たない。行政はきっかけを作って支援をするというのが一番大事な事なので、次に何をしなくてはいけないかということに、組み立てていくことをやってほしいです。

それは、これだけではなく全ての事に言えます。

**≪部会長≫**

今、小学校では、おじいちゃんおばあちゃんの様子でどう対応していけば良いかということで、子ども達に意識を持ってもらい、家の中でおじいちゃんおばあちゃんの異常を発見してもらうということをやっています。

どんどん広げていけば、認知症の予防に向けた良い取り組みになるのではないのかなと思います。

**≪部会員≫**

逆に言えば、認知症なら認知症を取り組むということにして、実態を調べてもらい、取り組みの情報を一括して、取り組みとして可能な現状と事業を組み込んで、色々な取り組みを出した中で整理していけば、どのような発信の仕方が一番有効かというようなことが見えてくると思います。

そうするともう少し議論ができるようになるのかなと思います。

**≪部会員≫**

無理矢理やらせようとするのではなく、自然にそこにあるコミュニティにちょっと遊びで入って、遊びが実は身体活動になっていたというのが望ましいのではないかと思います。

**≪部会員≫**

楽しく競わせるというのも良いかもしれないですね。

私は基本的に運動をしたくないので、運動したくない人が興味を持つような、参加しても良いかなと思わせるような取組があれば良いと思います。

**≪部会員≫**

来月、部会長副部会長会議があるので、出てきた内容にもよりますが、今話にあったようなことを振り分けていけば良いかなと思っております。

**≪部会員≫**

部会長副部会長会議では、各部会で話し合われた健康という柱だてを確認し合うということですか。

**≪部会員≫**

あとは目標ですね。

糖尿病や高血圧や認知症の三本柱でいくのであれば、確実に増えてくる生活習慣病の登別市の現状と１０年後の予想数値が多分出てくると思うので、例えば目標としては２割減を１０年後の目標にするなどして、やはり目標を持たないといけないと思います。

**≪部会長≫**

来月の部会長副部会長会議は、どこの部会からどのような提案があるのですか。

**≪事務局≫**

それぞれの部会で何回か話し合ってきた意見等の要点を事務局で作成しますので、それに基づいて話をしてもらい、連動できるものがあれば連動するというような形で話を進めていこうかなと思っております。

**≪部会長≫**

メインは「健康」ということなので、何を柱にして具体的な目標を持って取り組むかを各部会でどうシェアするかということになりますね。

**≪事務局≫**

今の所「健康」という柱で走っているので、部会長副部会長会議の中で細分化できる部分があるのであれば、話を進めていきやすいと思います。

**≪部会長≫**

健康づくりのために病気の予防というような形で言えば、今まで出てきた生活習慣病を予防するための具体的な取り組みを全体でまずやってみようという発想になれば良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

健康だけでいくと、医療費とかそういう問題になるので、逆に解りずらくなりますよね。具体的にそのように決めた方がはっきりとわかってくるので、確実に一番問題無いのはそこだと思います。

**≪部会長≫**

育み部会としては、今出てきたようなことをメインで出して、それが理解していただけるのであれば、今言った具体的な部分を出して論議していくというような方向でよろしいでしょうか。

**≪部会員≫**

公園の活用法は調べてもらいたいですね。

どの程度まで地域住民で活用できるのかを知りたいです。

**≪部会長≫**

遊具や公園の使用の仕方も場所によっては違いますよね。

ボールを使えない所は結構ありますし。

規約などがあれば見たいですね。

**【次回会議について】**

・部会長副部会長会議の中で、改めて各部会でできることを整理しながら次の部会に繋げていく。

・公園の活用方法等について、土木・公園グループに確認する。

**【次回の日程】**

平成２８年７月２７日（水）１７時３０分から